



甲南第一小学校だより

第一っ子



令和5年5月31日

(2023年度)

第3号

甲南第一小学校

雨の季節の到来! 心と体の疲れを癒す時間も大切に!!

6月と言えば「梅雨」ですね。そんな6月、雨が降る日が多い月にもかかわらず、旧暦では水無月と書いて「みなづき」と呼びます。雨の多い月なのに、なぜ「みなづき」なのでしょう？現代の日本では、1月、2月、3月というグレゴリオ暦法と呼ばれる新暦が採用されていますが、明治5年までは太陽暦をもとにした旧暦を使用していました。この旧暦では、各月に「和風名月」という日本だけの名前がつけられており、新暦が採用された後もこの名称が使われてきました。

【和風名月】

1月：睦月、2月：如月、3月：弥生、4月：卯月、5月：皐月、6月：水無月
7月：文月、8月：葉月、9月：長月、10月：神無月、11月：霜月、12月：師走

尚、なぜ新暦が採用されるようになったのかというと、明治維新後に外国との交流が盛んとなったため、世界基準に合わせるためだったからだと言われています。

話は「和風名月」にもどりますが、「和風名月」では6月を「水無月」と呼んでいます。雨の多いこの月に「水が無い月」という名称は不思議ですね。その理由には諸説あるようで、その主な説が、水無月の「無」が「の」にあたる助詞であり、梅雨の時期にはどの田んぼにも水が豊かにあることから、そもそも「水の月」であることを表しているという説、田んぼに水を引くために、他の場所には水がないという説、暑くなってきて水が枯れてしまうという説など。その中でも、最初に述べた説が有力だと言われています。

いよいよ雨の多い月に入ります。「梅雨」入りももうすぐです。新年度がスタートし、緊張しながらもこれまで頑張ってきた第一っ子。また、5月8日からのコロナの5類への移行に伴う多く行動制限の緩和もあり、ますます元気に活動する第一っ子。加えて、この時期とは思えないほどの暑い日の増加。子どもたちも自分では気付かないうちに、心と体の中に疲れを溜め込んできているのではないのでしょうか。



思うよう外に出られない日が増えるこれからの時期を、少し静かに雨音や生き物たちの鳴き声に耳を澄ませ、深まる新緑を眺めながら、これまでを振り返り、今の自分を見つめ、心と体に溜まった疲れを癒す良い季節にしてほしいと思います。

甲南第一小学校 校長 松山 辰也

いつでも対応できるように！ 備えをしっかりと!!

これから雨の多くなる季節を迎えます。近年大雨になることが多く、災害の起こる危険性は高まっています。どうぞ、ご家庭でも通学路や自宅周辺の危険個所の確認、災害時の行動や避難の仕方等について日頃から話題にし、緊急の時に備えてほしいと思います。

また、今年度に入り、震度5クラスの地震が多発しています。大雨の災害のみならず、地震への備えも、しっかりお願いします。

いつ災害が起きても対応できるように、日々準備・意識しておくことが大切です。



本年度の第一っ子スローガンは「やさしさ・あいさつ大切に！協力し合って笑顔あふれる学校へ」、6年生の子どもたちが5年生の時に令和5年度に向けて考えたものです。誰にでも進んで挨拶する姿、登下校で下学年の子どもたちを気遣う姿、縦わり活動でグループをリードする姿、掃除時間に一緒に優しく活動する姿等、スローガンにあるように、優しさや挨拶を大切にする6年生の姿が学校の中に多くあります。そんな6年生の姿をととても頼もしく思っています。これから、さらに笑顔でいっぱい学校にしてほしいと思います。



笑顔いっぱいの学校へ

ひとみ輝く第一っ子 よく学び・心豊かに・健やかに